

# 運営方針・計画

## 九州大学ビジョン2030

九州大学は、指定国立大学法人の指定申請を契機に、2030年の目指す姿として「総合知で社会変革を牽引する大学」を掲げ、その実現に向けた大学のビジョンと重点施策からなる「Kyushu University VISION 2030」を策定しました。

九州大学が有する多様な「知」と「人材」を結集して、自然科学系や人文社会科学系、さらにはデザインを加えた知による「総合知」によって、社会的課題の解決とそれによる社会・経済システムの変革や、新しい価値の創造に取り組んでいます。

### ★もっと詳しく知るには

#### ・Kyushu University VISION 2030

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/president/vision>

### ◆お問い合わせ先

九州大学総長支援室運営・調整係

092-802-2084

## 指定国立大学法人構想

九州大学は、2021年11月22日付けで文部科学大臣より「指定国立大学法人」の指定を受けました。

指定国立大学法人は、国際的な競争環境の中で、世界の有力大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に貢献する取組の具体的な成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。

「Kyushu University VISION 2030」で示したビジョン、重点施策を踏まえ、指定国立大学法人構想で掲げた各取組を組織的に推進しています。

### ◆お問い合わせ先

九州大学総長支援室運営・調整係

092-802-2084

## 中期目標・中期計画

平成16年の国立大学の法人化によって、大学の教育研究の基本理念や長期的なビジョンに基づいた自律的な運営が可能となり、大学ごとに中期目標・中期計画を策定するとともに、業務実績について評価を受けることが義務付けられました。

中期目標・中期計画を策定し、その達成に取り組むことは国立大学法人に対する公的投資の前提であると同時に、構成員が大学のビジョンを共有し、定期的な点検・評価を通じて教育研究の質の向上を図り、計画の進捗に応じた合理的・効果的な資源配分や計画的・戦略的な大学運営に繋がるという意義を有しています。

また、文部科学大臣は、中期目標期間終了時に国立大学法人の組織及び業務全般にわたる検討を行い、所要の措置を講じるものとされています。各国立大学法人は文部科学大臣から提示される組織・業務の見直し内容を踏まえ、次期の中期目標・中期計画を作成することとなります。

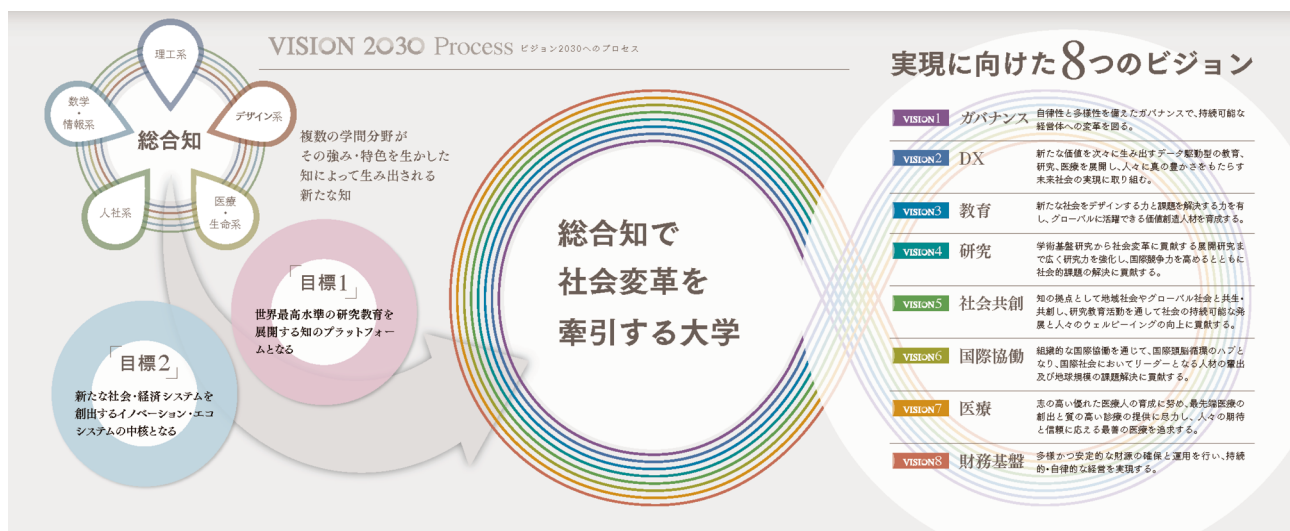
### ○中期目標・中期計画

中期目標は、大学の理念や長期的な目標を実現するため、6年間に達成すべき業務運営に関する目標として、国立大学法人法の規定に基づき、予め大学から提出する中期目標原案を踏まえ、文部科学大臣が定め国立大学法人に提示されるものです。

中期計画は、文部科学大臣より提示された中期目標を達成するための具体的な計画として、国立大学法人法及び同法施行規則に基づき大学が作成し、文部科学大臣の認可を受けるものです。

国が国立大学法人に求める役割・機能を提示した大綱の中から、自らの目指す方向性(Kyushu University VISION2030)を踏まえ、第4期において特に変革を進め、特色化を図る項目を中期目標として選択し、達成を目指す水準及び達成するための方策や検証可能な指標を中期計画として策定しています。

また、2021年11月に文部科学大臣より「指定国立大学法人」の指定を受けたことを踏まえて策定しています。



# 指定国立大学法人構想

持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ(=well-being)を実現できる社会に貢献

## 総合知で社会変革を牽引する大学へ

### 世界と伍する研究力への強化

- 研究戦略会議による研究戦略策定と新たな強み発掘
- 学術の発展及び社会的課題解決に向けた「総合知」創出・活用
- 秀逸な若手・女性・外国人研究者の獲得・育成

「目標1」 世界最高水準の研究教育を展開する知のプラットフォームとなる

「目標2」 新たな社会・経済システムを創出するイノベーション・エコシステムの中核となる

### 社会との連携

- 産学官民連携による社会的課題解決と成果の事業化促進
- 大学発ベンチャー起業促進
- 地域コミュニティとの協働によるシチズンサイエンス

### 総合知の創出・活用

最優先取組

#### 社会的課題の解決によって社会を変革する取組

エントリポイント

大学の強み・特色を生かして社会的課題の解決に貢献

脱炭素  
医療・健康  
環境・食料

#### 未来社会デザイン統括本部

##### ミッション

- 自然科学系と人文社会科学系の知の融合による総合知の創出・活用
- 社会の変革状況等を踏まえたビジョン達成のための戦略策定
- 取組の進捗管理と戦略的資源配分
- 九大版地域連携プラットフォームの橋渡し(調査・提言)

最優先取組

#### DXの推進によって社会を変革する取組

#### データ駆動イノベーション推進本部

##### ミッション

- DXによる「あるべき社会の姿」の研究やその実現のための戦略発信
- データ駆動型教育・研究・医療の展開
- データマネジメント&データガバナンスの構築
- DXにより社会を変革するイノベーション創出への貢献

### 教育による価値創造人材の育成

- 課題解決型授業科目やSTEAM教育の全学展開
- 分野融合型学位プログラム等による多様な博士育成
- COIL型教育、DD、JDによる教育の国際化

### 戦略的資源配分による各取組の活性化

#### ガバナンスの強化

経営視点のガバナンスとダイバーシティ環境構築

#### 財政基盤の強化

外部資金等獲得戦略に基づく多様な財源の確保

### 国際協働

- 戦略的パートナーシップ大学との国際協働強化
- 共同研究等拡大による国際頭脳循環
- グローバル化に対応する環境整備

中期目標・中期計画は、大学の基本的な目標を掲げた「前文」と、法で定められた

「教育研究の質の向上」

「業務運営の改善及び効率化」

「財務内容の改善」

「自己点検・評価及び情報の提供」

「その他業務運営」

の項目で構成されています。

### ○年度プラン

年度プランは、文部科学大臣の認可事項ではなく、学内限りで作成するものです。

中期目標・中期計画の達成に向け、年度プランに取り組んでいくことになります。

### ○部局の中期目標・中期計画

部局の中期目標・中期計画は、文部科学大臣の認可事項ではなく、学内限りで作成するものです。

本学の中期目標・中期計画の達成のためには、教育研究活動の現場である部局の取組が重要であることから、本学の中期目標・中期計画をもとに、部局の教育研究の理念や目的に基づき、役割や強み・特色を踏まえた中期目標・中期計画を作成し、その達成に向けて教育研究活動等に取り組んでいくこととなります。なお、学内共同教育研究センター等につい

ては、規模や人員配置が異なることから、作成を任意としています。

また、部局の中期目標・中期計画についての進捗管理は部局において行うこととしています。

### ★もっと詳しく知るには

#### ・九州大学の中期目標・中期計画等

(九州大学ホームページの将来計画・大学評価・IR)

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/plan/chuki/>

(九州大学インスティテューショナル・リサーチ室ホームページ)

<https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/university-evaluation/detail>

#### ・各国立大学法人の中期目標・中期計画

(文部科学省国立大学法人等のページ)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/houjin/houjin.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/houjin.htm)

### ◆お問い合わせ先

企画部企画課評価係

092-802-2176

内線:90-2176

## 目標・計画・評価の概要

